



門高通信

～令和5年度 9月～

石川県立門前高等学校

〒927-2193 石川県輪島市門前町広岡5の3

TEL:0768-42-1161

FAX:0768-42-0009

ホームページ <http://cms1.ishikawac.ed.jp/~monzeh/nc2/htdocs/>

メールアドレス: monzeh@ishikawa-c.ed.jp

9月2日(土) 門高祭(文化祭) 未来～新時代は目の前だ～

今年度はフリーステージの一般公開が再開されました。地元の太鼓や獅子舞の演舞等が行われました。太鼓や獅子舞の披露にあたり、ご指導・ご協力いただきました皆様ありがとうございました!!!



10月の主な行事予定

- 2日 歯科講話(1年)
- 3日 中間考査(～6日)
- 7日 部活動体験入部
ベ・駿記述模試(～8日)
- 11日 球技大会
- 12日 球技大会予備日
- 13日 地元企業見学会(22H)
- 16日 中高合同選挙出前講座(1、3年)
- 18日 参道清掃
- 19日 公務員模試(2年)
- 20日 全統記述模試(～21日、3年)
- 21日 ソフトボール新人大会(～22日)
- 26日 マラソン大会
- 27日 マラソン大会予備日



ふるさとに未来の種を蒔こう 石川県立門前高等学校

8月4日（金）アントレプレナーシップ&生徒保健推進講習会

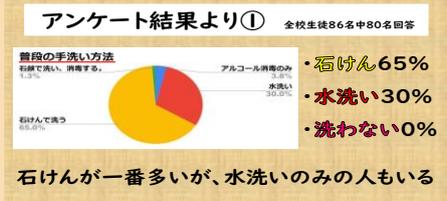
令和5年度石川県高等学校保健会「生徒保健推進講習会」に参加し、本校保健委員会の代表者が「手洗いの大切さ～食パンのカビ実験より～」について研究発表を行い、優秀賞を受賞しました。



まとめ

- ・石けんを手洗いをするのが最も効果的である。
→水洗いだけでは落とせない皮膚なども落とせる
- ・石けんを洗う時は、「指の先」なども意識して洗う必要がある。
- ・アルコール消毒液もある程度は効果的であるため、水場がない時などに使用すると良い。

これらは以前から言われていることだが、実験を通して実感できたことが大きな収穫!!



アントレプレナーシップ教育推進事業で、本校2年生の代表者が「MONDLE～日本一ご利益があるキャンドル～」のテーマで研究発表を行い、銀賞を受賞しました。



「オーバーツーリズムと観光産業」 ---新たな探究活動の視点--- 中澤 賢 校長先生



新型コロナウイルス感染症が感染症第5類に移行したことや円安の影響を受けて、海外から多くの旅行者が日本を訪れている。某新聞で「スラムダンク」の聖地とされる江ノ島電鉄の「鎌倉高校前」号踏切」周辺に観光客が殺到して、交通誘導員を配置した、との記事を読んだ。映画公開後はさらに過熱してきており、海を背景に車道で写真を撮影したり、ゴミを捨てたりする迷惑行為が散見される等、住民の生活を脅かす「オーバーツーリズム」の懸念が出てきているようだ。

ところで、皆さんは「オーバーツーリズム」という言葉を聞いたことがあるだろうか？観光地に受け入れ可能人数を超える観光客が押し寄せることで地域住民の生活や自然にマイナスの影響を与える状態（観光公害）のことで、世界の観光都市で問題となっている。日本では、「京都」がその最前線である。コロナ感染症流行前は、観光客と京都住民たちの間で起こった「舞妓パパラッチ・景観破壊・民泊問題」などが問題視され、話題になった。

私事だが、この夏、大学の同窓会があったこともあり、5年ぶりに京都を訪れた。久しぶりの「京都独特の夏の暑さ」を楽しみながら、当時を思い出し、ノスタルジーに浸りたかったのだが、現実はそのようにしてくれなかった。祇園界隈や清水寺などの定番スポットは、コロナ前のようなにぎわい（いやそれ以上か？）を見せていた。閑古鳥が鳴いていた、ここ数年間を考えれば、経済効果という点ではありがたいわけだが、私にしてみると、「あの混雑ぶり」には、ほとほとうざりした（余談だが、ホテルへ戻る地下鉄の中で、観光中と思える外国人も同様に、「あの混雑さ」への不満を話しているのを耳にした（英語だったのでなんとか聞き取れた））。

石川県もまた金沢市を中心に海外からの観光客が増えてきている。幸いにも、京都のような観光公害的な問題は聞いていないが、今後、地元住民の生活を守りながら、観光産業を発展させるような模索を、探究活動のテーマとして考えてみてほしい時代になってきたのではないだろうか。